

若者・女性からの意見聴取について

- 目次 -	これまでの経緯等について	1
	意見聴取の目的等について	2
	意見聴取の開催企画(案)	3
	意見聴取の実施計画(案)	7
	開催スケジュール(案)	10

令和7年4月
北陸圏広域地方計画推進室

これまでの経緯等について

○北陸圏では、将来の担い手となる若者からの意見を計画に反映させることを目的に、令和6年9月に「ほくりくダイアログ2024」と題して、若者からの意見を聴取するワークショップを開催した。

ほくりくダイアログ2024 [第1回WS]

[日時] 令和6年9月3日(火)11:30 ~ 16:00

[会場] 金沢港クルーズターミナル(金沢市)

[参加者数] 29名(公募により集まった北陸圏に関わりのある若者)

[プログラム]

- ①開会・導入:開催趣旨、広域地方計画の紹介
- ②ランチミーティング:昼食しながらチームビルディング
- ③参加者の土台づくり:自己紹介(北陸のイメージを「色」で説明)
- ④ワーク1:北陸のwell-beingを分析
- ⑤ワーク2:10年後の北陸圏を考える
- ⑥全体シェア:グループ別に話し合ったことを発表
- ⑦ふりかえり:北陸のイメージの変化を「色」で説明



[ランチミーティング]



[コーディネーター 水上委員]



[グループワークの様子]



[参加者全員で記念撮影]



[全体シェア・発表の様子]



意見聴取の目的等について

■ 第1回WSでの主な意見

- ✓ 第1回WSでは、新たな広域地方計画に反映してもらいたい事について提案を受けた。

[北陸圏広域地方計画への提案(一例)]

- 多様な価値観を受け入れるための教育の充実などによる意識の醸成
- 行政等による計画策定における委員会・協議会への若者の積極的な登用
- 若者がまちなかに集う商業施設の誘致や既存市街地の再編など中心市街地の魅力向上 など

提案内容は、中間とりまとめ(素案)[R6年12月公表]の広域連携PJなどに反映済み

■ 計画の充実化にむけた更なる意見聴取の必要性

- ✓ 「地方創生」では、若者の主体性を求めており、広域地方計画でも若者が自らが実践できる具体策を検討してもらい、計画に反映していくことが求められる。

地方創生2.0の「基本的な考え方」(令和6年12月24日 新しい地方経済・生活環境創生本部決定)

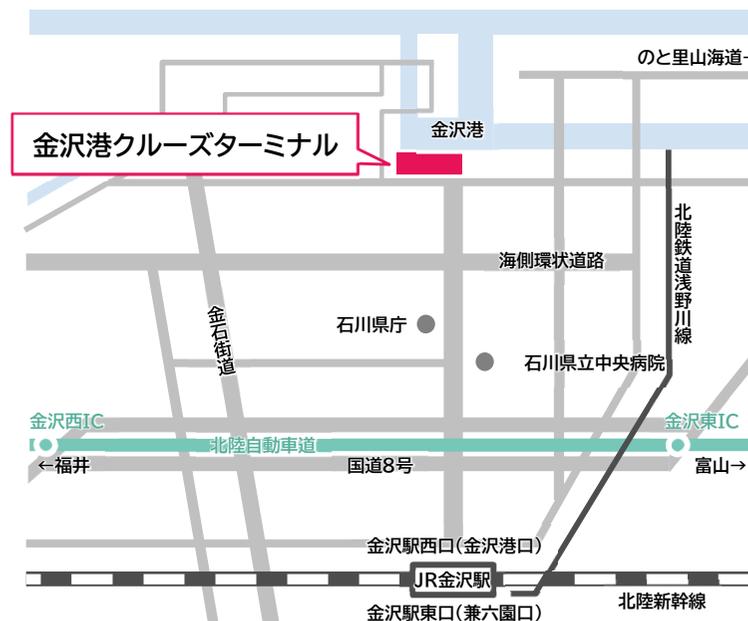
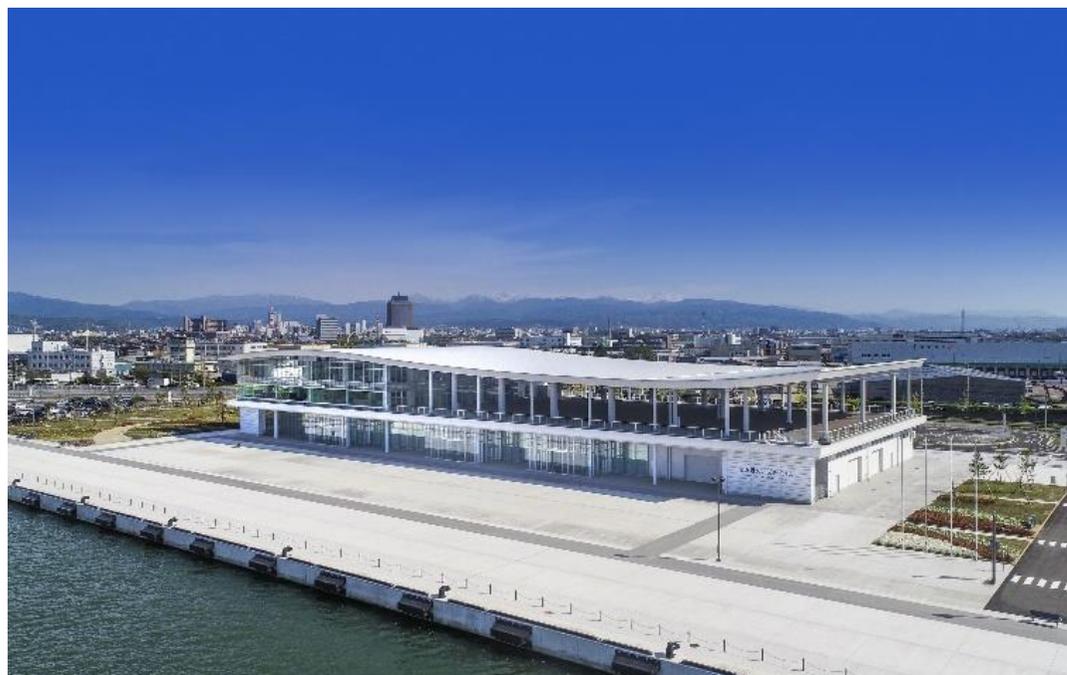
○各地域において、学生などの若者も含めて、「産官学金労言」の関係者が、「女性や若者にも選ばれる地域」となるため、自ら考え、行動を起こすことが必要ではないか。

- ✓ また、第1回WSで「意見を聴いて終わり」としないため、若者・女性が担い手となって実現する取組を提案してもらうことで、計画への信頼性や実行性を高めていくことが重要である。

若者・女性が自ら実践するアクションプランを提案してもらう場を企画

意見聴取の開催企画（案）

- 名称 ほくりくダイアログ2025
- 開催日時 令和7年6月14日(土) 11:00 ~ 16:00
※会場は9:00~18:00まで利用可能
- 会場 金沢港クルーズターミナル（石川県金沢市無量寺町リ-65）
2F セミナールーム ※ほくりくダイアログ2024(第1回)と同じ会場



JR金沢駅から車で約15分
高速道路 北陸自動車道 金沢西ICから約15分 金沢東ICから約15分

意見聴取の開催企画（案）

- **開催方法** 会場での集合参加による対面開催
 - ⇒ 参加者同士が対話を行うことで自らが実践できる具体策を導くことが期待できるため、ワークショップ形式で実施
- **参加対象**
 - ✓ 第1回WSの参加申込者に参加を打診する。
 - ✓ 第1回WSからの参加者数を踏まえて、欠員などを追加で新規募集する。
 - ✓ 各グループに行政職員を配置する。
 - ✓ 追加の新規募集を行う際は、女性参加者の拡大を図る。
 - ⇒ 女性参加者の拡大にあたっては、女性活躍に関する「北陸企業DE&I推進の取組み」を取りまとめている地元経済団体(北陸経済連合会)とも連携
- **募集方法** 一般公募(ホームページ・記者発表投げ込み)
 - ✓ 第1回WSの参加申込者には別途メールで連絡を行う。
 - ✓ 新規募集は予め関係機関等に協力依頼を行う。

意見聴取の開催企画（案）

■ 有識者懇談会委員の参加者

役割	内容	担当	備考
総括	・ワークショップの総括など	高山 純一 委員	有識者懇談会座長 (公立小松大学)
メイン ファシリテーター	・ワークショップ全体の進行	水上 聡子 委員	有識者懇談会委員 (アルマス・バイオコスモス研究所)
アドバイザー	・グループワークのアドバイ スなど	堀田 裕弘 委員	有識者懇談会副座長 (富山大学)
		柳原 佐智子 委員	有識者懇談会委員 (富山大学)

意見聴取の開催企画（案）

■ プログラム(案)

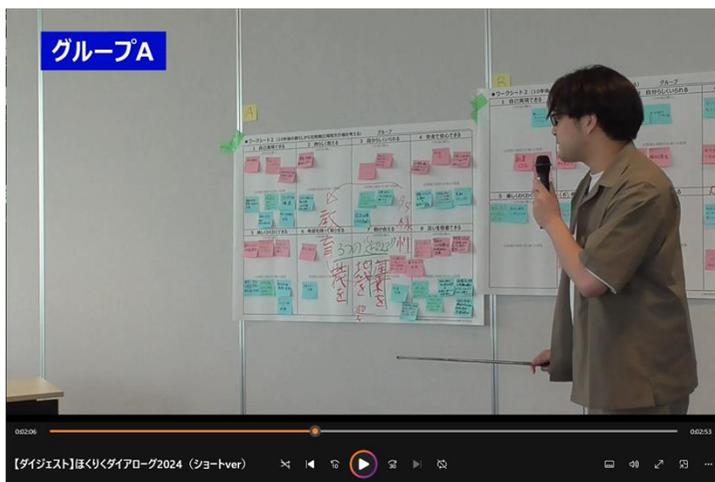
	時間	項目	内容	ポイント
1	10:45-11:00	受付	・リラックス	○リラックスできる空間、雰囲気。※仮の席に着席
2	11:00-11:35	開会・導入	・開会挨拶、開催趣旨の説明など ・広域地方計画の紹介(動画、配布資料など) ・第1回WSの開催概要・成果報告の説明	○前回のダイアログで出た意見が計画にどのように反映されたかを伝えることで、計画策定プロセスに対する参加者の信頼を高める。 ○参加者の意欲を引き出す上で、ワークショップの開催目的とその実現方法への信頼が重要。
3	11:35-12:00	グループ分け	・事前インプット、グループ分け	○話し合うテーマについて説明し、興味のある分野を自ら選ぶことで、内容にコミットし、意欲的に話し合う動機づけを行う。
4	12:00-13:00	ランチ ミーティング	・食事をしながら、新しい出会いを楽しむ	○グループ分けで出会ったメンバーと仲良くなる。
5	13:00-13:20	参加の 土台づくり	・参加のルール、アイスブレイク ①ルール出し、②自己紹介名刺づくり	○安心して積極的に意見が言いたくなる場をつくる。 ○参加の動機や今日の場に期待することなどを共有する。
6	13:20-14:25	ワーク1	・新しい担い手として考える計画の実現 ①何ができるか、何をしたいか ②実現のために必要な要素、課題 ③自らの役割の認識	○自分達(若者、女性)が担い手になれるという意識を育む。 ○自分達が主役となって実現していきたいことを研ぎ澄ませる。 ○実現するために必要な連携体制、予算、課題を整理する。 ○自らの自己実現としての楽しみを感じる提案のために。
7	14:25-14:35	休憩	・リラックス	○自分らしいプレゼンに向けてリラックスする。
8	14:35-14:50	ワーク2	・提案を効果的に伝えるプレゼン準備	○チームの提案が、全参加者にとって魅力的に、そして計画に反映しやすくなるようブラッシュアップ。
9	14:50-15:20	全体シェア	プレゼンテーションとフィードバック	○会場からフィードバックを集め、プレゼンの達成感を得る。
10	15:20-15:40	ふりかえり	・ふりかえりシート記入とシェア	○感謝と今後のつながりに向けて、一日をともにした仲間どうし、ふりかえり結果をシェアする。 ○最初に書いた参加の動機や期待が、どのような結果になったかを確認し合う。
11	15:40-15:50	講評	・実現に向けて意欲を高めるコメント	○絵にかいた餅に終わらせず、実現につながる意欲を高める。
12	15:50-15:55	閉会	・閉会挨拶	○参加者への感謝と計画に反映する方法について伝える。
13	15:55-16:00	写真撮影	・外での集合写真	○ワークショップの余韻を形に残す。

意見聴取の実施計画（案）

■ 第1回WSの開催概要・成果報告の説明

- ✓ これまでの振り返りとして、第1回WSの開催概要について説明する。
- ✓ また、第1回WSで若者から提案していただいた意見が、計画(中間とりまとめ(素案))にどのように反映したか説明することで、計画への関心やWSへの信頼性を高める。

【第1回WSの開催概要】



【計画への反映状況(一部抜粋)】

【赤字箇所+ピンク色ハッチ箇所】

> 若者意見(ほくりくダイアログ 2024)を踏まえて修正・加筆した箇所

4. 北陸の食文化を支える農林水産業の担い手不足

農林水産業の就業者の高齢化が進み、第一次産業の就業者は更に減少していく可能性がある。また、**荒廃農地**も増加傾向にあり、農山漁村の過疎化、高齢化による農林水産業の担い手不足は深刻な状況にある。

第4節 若者が考える北陸圏のイメージ

本計画は、2050年、さらにその先の長期を見据えつつ、今後概ね10年間を計画期間と設定していることから、本計画の策定にあたり、北陸圏の将来の担い手となる若者に対して、北陸圏にどのようなイメージを抱いているか、対話の場¹ **above** を設けて確認を行った。

北陸圏に対して感じるポジティブなイメージとしては、「あたたかい」、「ゆったり」、「落ち着く」といった意見が多い。具体的には、近所同士のつながりや助け合いなどの地域の結束力が強い、都会と比較すると時間の流れが緩やかに感じられる、自然が豊かでリラックスできるなどの意見が挙げられており、地域コミュニティ内における交流・連携や北陸圏の暮らしやすい住環境などに対して、ポジティブなイメージを有している。これらは若者にとって大都市圏では感じられない北陸圏の強みになっているものと考えられる。

一方、北陸圏に対して感じるネガティブなイメージとしては、「つまらない」、「きゅうくつ」、「暗い」といった意見が多い。具体的には、娯楽や商業施設が少ない、圏外流出などにより同世代の友人が少ない、固定概念などにより新しいことに対する抵抗や同調圧力を感じる、冬期間になると降積雪により移動しづらいなどの意見が挙げられており、様々な暮らし方・働き方のできる生活環境、夏田環境や冬期間の気候などに対して、ネガティブなイ

計画への反映箇所を提示

意見聴取の実施計画（案）

■ 意見聴取のテーマと実施方法

- ✓ 主に第1回WSで挙げられた意見からテーマを設定して、それらの実現に対して自らが実践できる事(アクションプラン)などについて提案をしてもらう。
- ✓ ただし、広域地方計画の範囲から大きく逸脱する提案を抑制するため、参加者にはディスカッション前に事前インプットを実施する。
- ✓ 事前インプットは、テーマに合致するような、既存の個別事業などを複数例示して、提案してもらいたい具体策のイメージ共有したうえで、計画のどの部分について提案を求めるかを説明する。(該当する広域連携プロジェクトなど)



参加者には、計画への位置付けを想定している既存の個別事業を複数例示することで、どのような取組を提案してもらいたいかがディスカッション前にイメージしてもらう

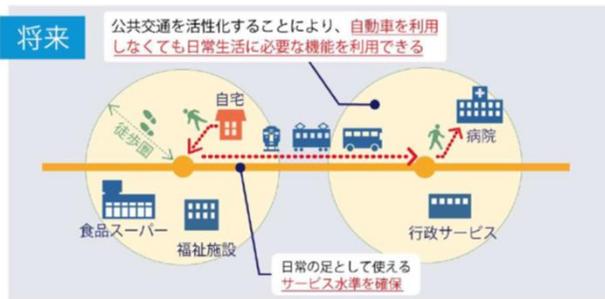
意見聴取の実施計画 (案)

■ 意見聴取のテーマ設定(案)

[テーマ①] 中心市街地の魅力向上

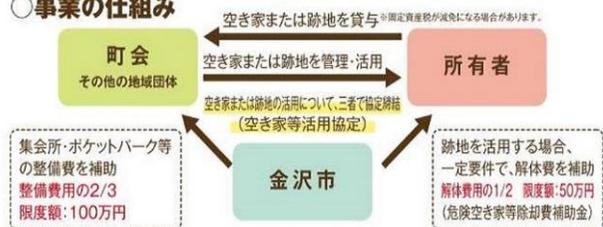
個別事業の例

[富山県] まちなか居住推進事業



[石川県] 地域連携空き家等活用事業

○事業の仕組み



[福井県] 福井版ほこみち制度:ふくみち



[テーマ②] 教育の充実

個別事業の例

[富山県] 学生地域リーダー塾



[石川県] 石川未来プロジェクト



[福井県] 進路探究ワークショップ



[テーマ③] 新しいチャレンジへの支援

個別事業の例

[富山県] ワクワクチャレンジ創業支援事業

あなたの新しい挑戦で、富山をワクワクさせよう。

ワクワクチャレンジ 創業支援事業

〈補助金〉最大100万円支給! 起業にかかる資金の1/2を負担します!

[石川県] スタートアップビジネスプランコンテストいしかわ

スタートアップビジネスプランコンテストいしかわ2024

- 最優秀起業家賞 1名 最大600万円
- スタートアップ補助金500万円 + UIターン支援補助金100万円*
- インキュベーション施設を3年間無償で貸与 (0157号付添(1)ラゲス他:8802)
- 優秀起業家賞 2名程度 最大200万円
- スタートアップ補助金100万円 + UIターン支援補助金100万円*
- *事業計画書審査通過後、審査員選定後、県内各自治体等に公募して応募していただき、審査通過後、100万円以内の補助金
- 最優秀起業家賞 優秀起業家賞 共通
- SICO、石川県工業試験場、金融機関等からなる支援チームによる集中サポート
- *スタートアップビジネスプランコンテストいしかわHP及びSICO情報誌等による情報発信
- 特別賞
 - ・地域活性化賞
 - ・学生賞 など

※詳細等なしの場合はごまします

[福井県] ふくいベンチャー創出プロジェクト

リアル&オンライン開催

福井ベンチャーサミット

《第11回 福井ベンチャーピッチ》

開催日時 令和6年10月30日(水) 13:45~17:00

聴講無料

開催スケジュール（案）

- 4月21～25日 [事前レク]有識者懇談会(書面開催)
(若者・女性からの意見聴取の企画案を諮る)
- 5月 1日(木) 参加者募集のプレスリリース、
前回参加者に案内メール発送
- 5月30日(金) 募集〆切
- 6月上旬 参加者調整・確定、資料の事前送付
- 6月14日(土) ほくりくダイアログ2025 開催
- 7月上旬 有識者懇談会
(若者・女性からの意見聴取の計画反映を諮る)
- 7月末 中間とりまとめ(案) 本省提出